

「かんきょう」パンフレット

第85号 (社内環境情報紙)

2013年4月10日

青柳工業株式会社 環境会議 事務局

本年度の環境目標について

昨年は、活動項目すべてで目標達成できました。本年度も5項目の目標を掲げ、環境活動を実行することをキックオフで説明しました。その5項目をもう一度確認してください。

1. 省エネルギーの推進(電気使用量を昨年実績より1%低減する)
 2. 廃棄物削減(一般廃棄物を昨年実績より2%低減させる)
 3. 社会貢献活動(廃キャップを分別回収量を昨年より6%向上させる)
 4. 防災活動推進(防災マニュアルを年間計画に沿って作成する)
 5. 環境教育実施(かんきょうパンフレットを作成し、社員に閲覧する)
- 目標内容は、各フロアに掲げた環境宣言に書いてあります。今年も皆様のご協力をよろしくお願いします。



キックオフで環境目標を説明

廃キャップ収集目標を達成しました

社会貢献として始めた、ペットボトルキャップの回収ですが、お陰様で年間4,200個の目標に対し、実績では6,243個集り、初年度から目標を達成することができました。皆様のご協力に深く感謝します。4月4日、本年度集まったキャップを、すべて回収業者に発送しました。引続き本年度も、キャップの回収活動を継続します。本年度の目標は6,500個、6%のアップを目指しています。回収場所、回収方法も前年度と特に変わりません。自動販売機脇の専用ポストにに入れて頂くかまとめて事務局、高橋まで持ってきてください。皆様のご協力により今年も、世界の子ども達にワクチンを届けたいと思います。



回収団体のホームページ

水戸市環境フォーラムが開催されました

水戸市環境フォーラムが、3月23日(土)水戸市国際交流センターで開催され環境に関する問題点を、様々な角度から議論しました。今回のテーマは「環境からみた水戸の魅力」で、パネラーが独自の見解を述べ、それに対し、来場者から意見をいただきました。私が面白いと思った発表は、水戸市の気象条件が全国的に見ても大変住みやすい状況であることを、たくさんのデータから説明したうえで、水戸市の環境状況が、他の都道府県より良好であるため、環境に対する問題意識が薄いと結論付けたことでした。環境問題で結束の硬い地域は共通の問題点があることから、そうした説明に説得力を感じました。



当日の水戸市環境フォーラム会場

桜の木の保全でも議論が分かれました。観光資源として、また景観上からは保全が大切なことは良くわかりますが、かといって、頭の上に毛虫が落ちてきて気持ち良い人はいません。桜の開花時期は心が癒されますが、葉桜になると誰も関心を持たない、環境問題の難しさがそこにあるようです。

環境コラム 「野外で遊ぶときは“害虫”に注意してください」

春になると、野山にきれいな花が咲き、お天気の良い日には外に出て、清々しい空気をいっぱい吸いたいです。最近のニュースで、ちょっときなな話題があります。“マダニ”聞いたことがありますか？動物にとりついて血を吸うあのダニです。イエダニに比べると、とても大きく肉眼で確認できます。小さなお子さんの頭にとりついて、発見できなかった事例もあります。一度取りつくと一週間程度はりつき、体がパンパンになると自然に落下しますが、無理にとろうとすると、皮膚まではがれてしまいます。万一、とりつかれた場合は、皮膚科のお医者さんに相談してください。こうした害虫は、有害鳥獣を介して繁殖、移動してるようで、急速に里山地域に被害が拡大しています。感染症も怖いようで、一般のお医者さんでは、症状が風邪に似ていて誤診されたケースもあり、野外に出るときは、お子さんには必ず帽子をかぶらせてください。当分肌を露出するような服装は、控えたほうが良さそうです。